

# 平成 19 年度試験研究成果書

区分	指導	題名	固化培地育苗または直まきによるスターチスの高品質、多収生産技術		
[要約] スターチス・シヌアータは、固化培地育苗または直まきにより、株当たり良品採花本数、上位規格品本数とも増加できる。					
キーワード	スターチス	固化培地育苗	直まき	園芸畑作部	南部園芸研究室

## 1 背景とねらい

スターチス・シヌアータは、旧東磐井地域を中心に生産されており、県南部の温暖な気象条件を活かして春から初夏にかけて出荷する作型が導入されている。しかし、ポット苗を年内に定植する慣行の育苗方法では、苗の根巻きや植え痛みなどによる根張り不良が原因となり、十分な切花品質が得られていない現状にある。

そこで、スターチスが直根性であることに着目し、固化培地を利用した若苗定植、直まき等が、品質向上等に及ぼす効果を検討した。

## 2 成果の内容

- (1) 固化培地育苗は、「エクセルソイル」の 200 穴セルトレイを用い、10 月中旬の播種とする。本育苗により、地下部の根群形成はやや太い側根が数本発達し、株当たり良品採花本数、2L・L 規格品本数とも、慣行育苗より増加する（表 1、表 2、表 3、図 1）。
- (2) 直まきは、10 月中旬の播種とする。直まきにより、地上部の初期生育は慣行育苗より旺盛となり、地下部は主根が発達する。株当たり良品採花本数、2L・L 規格品本数とも、慣行育苗より増加する（表 1、表 2、表 3、図 1）。

## 3 成果活用上の留意事項

- (1) 本成果は、スターチス・シヌアータの品種「ソピア」に適用され、栽培方式は内張り保温によるハウス無加温栽培である。
- (2) 固化培地育苗では、1 セル当たり 2 粒まきとし、根鉢形成前（本葉 2 枚時）に定植した。本培地は肥料を含んでいないので、発芽後、液肥 2 号 2000 倍を週 1 回追肥した。
- (3) 直まきは、1 ヶ所 3 粒まきとし、発芽後、本葉 4～5 枚時に間引いて 1 本仕立とした。播種後、虫害による欠株対策に留意する。
- (4) 育苗等の方式について収益性を試算した結果、固化培地育苗、直まきは慣行育苗より所得が向上し、技術の導入効果が期待できる（表 4）。

## 4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者等  
スターチス生産指導者（普及センター、JA 等）
- (2) 期待する活用効果  
良品採花本数の増加、高品質化により生産者の所得が向上する

## 5 当該事項に係る試験研究課題

(H17-13) スターチス・シヌアータの直まき等による品質向上技術の確立・実証 (H17～H21 H18 県単)

## 6 参考資料・文献

S63 年度参考事項 スターチス・シヌアータの早出し用（5～7 月）品種の特性  
H17 年度試験研究成果書 スターチス「アイスター」シリーズにおける肥効調節型肥料の効果

## 7 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 初期生育（2006年）

処理	区	定植時		12月18日		3月6日		株茎 (cm)	抽台期 <sup>*1</sup> (月/日)		
		播種日 (月/日)	定植日 (月/日)	葉数 (枚)	最大葉長 (cm)	葉数 (枚)	最大葉長 (cm)			葉数 (枚)	最大葉長 (cm)
直まき		10/19	-	-	-	8.5	11.0	48.3	23.7	47.4	2/27
		10/31	-	-	-	4.2	5.6	32.0	19.1	38.5	3/8
		11/15	-	-	-	-	-	15.2	11.8	22.1	3/26
セル育苗	128穴	10/19	11/15	2.1	2.1	8.7	8.7	58.6	22.8	46.7	2/27
固化培地 育苗 <sup>*2</sup>	200穴	10/19	11/7	2.0	1.0	6.1	6.8	47.4	21.3	42.3	3/1
	288穴	10/19	11/7	2.0	0.8	5.9	6.9	46.3	20.1	40.8	3/5
	406穴	10/19	11/7	0.7	0.4	-	-	-	-	-	2/27
慣行育苗 <sup>*3</sup>		10/19	12/16	8.8	6.6	8.8	6.6	50.0	20.1	41.7	3/1

\*1 全株の50%の株が抽台した日。

\*2 「エクセルソイル」を使用。

\*3 育苗箱に条播し11月14日(本葉2~3枚時)に9cmポットに鉢上げ。培土はソイルフレンド。



図1 収穫終了時の地下部(2007年8月)

表2 根群形成の特徴(図1参照)

処理	根の発達状況
直まき	主根が太く伸びる
セルトレイ 128穴	やや太い側根が数本伸びる
固化培地 200穴	やや太い側根が数本伸びる
慣行	主根が見られず、細い側根が多数発生する

注) 播種日2006年10月19日、採花終了後に調査

表3 採花本数、品質、開花時期

年度	区		株あたり採花本数(本/株)		採花盛期 <sup>*3</sup>		
	処理	播種日	定植日	良品 <sup>*1</sup>		2L・L規格 <sup>*2</sup>	
2005	直まき		10/17	-	15.6	10.5	6/7
			10/27	-	13.6	7.2	6/9
			11/14	-	9.8	5.2	6/15
	セル育苗	128穴	10/17	11/14	15.3	11.2	6/9
		200穴	10/17	11/4	15.2	9.2	6/9
		288穴	10/17	11/4	14.1	6.7	6/13
慣行育苗	406穴	10/17	11/4	13.9	9.4	6/13	
		10/17	12/7	12.1	8.2	6/14	
		10/19	-	17.7	13.3	6/10	
2006	直まき		10/31	-	14.1	7.9	6/13
			11/15	-	12.1	7.4	6/16
			10/19	11/15	14.7	11.1	6/14
	セル育苗	128穴	10/19	11/7	20.3	15.2	6/20
		200穴	10/19	11/7	15.7	11.1	6/17
		288穴	10/19	11/7	17.0	8.8	6/28
慣行育苗	406穴	10/19	12/16	15.8	11.3	6/16	

\*1 切花長50cm以上、分枝数4本以上で、曲がりや障害等のないもの

\*2 \*1のうち、2L:80cm以上、L:70以上~80cm未満

\*3 全採花本数の50%を採花した日(採花期間2005年度 2006/5/6~7/21、2006年度 2007/5/11~7/31)

表4 導入効果(10aあたり試算値)

育苗等の方式	採花本数 (千本)	粗収益 (千円)	変動費(千円)		固定費 (千円)	所得 (千円)
			総額	うち育苗等経費		
直まき	60	1,479	695	41	363	421
セル育苗	54	1,365	648	35	371	346
固化培地育苗	63	1,548	721	43	369	458
慣行育苗	49	1,203	643	72	244	316

注) 若手県生産技術体系を一部改変して試算した。育苗等経費には種苗費を含む。

単価はH18、H19年規格別単価を適用(A農協実績)。

栽植本数3,600株/10a、採花本数は表2より2カ年の平均値を用いた。